

## V 実践しよう！～HOW TO 編～

さあ、「男女共同参画」をすすめましょう。  
ここからは、各連絡会の取組みについて、  
HOW TO編がはじまります！

### ■ HOW TO編 ■

富山県男女共同参画推進員市町村連絡会の15の事例を取り上げ、  
実施に至るまでの経緯や、実施方法などをQ&A形式で解説し、

- ①概要
- ②スケジュール
- ③ポイント
- ④やってよかったこと
- ⑤課題、改善点など

などを順に紹介しています。

# HOW TO ① 富山市連絡会 『ファミリー料理教室』

## 概 要

1. 開催日時：令和3年10月2日（土）午後2時
2. 会 場：朝日公民館
3. 参加者数：25名
4. 講 師：笹山 宗博 氏（味の笹義代表取締役）
5. 参加費用：無料

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

富山県男女共同参画推進員富山市連絡会では、男女共同参画意識の普及啓発活動のため各地区でイベントを行っております。

コロナ過の為に地域での行事・学校での運動会等のイベントも取りやめになることが多く、人と人とのつながり・絆がうすくなってきている事に留意しました。

そこで楽しく集まって料理をし、食事をしていただける「料理教室」を企画しました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

コロナ対策のため受付で記名・検温をし、手洗いマスクの着用をしました。

調理室では手狭なためディルームに長テーブルを並べて食材を中心に置き個人で1つのお弁当を作っていく方法にしました。

子供達は、とても楽しそうに取り組んでおり、親子の絆が深くなったと思います。

作ったお弁当は家へ持ち帰って家族で団らんをし、美味しくいただきました。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	7月	実施内容	日時・場所・内容を決定、講師依頼
2	8月	チラシ作成 配布	チラシを作成して、参加者募集
3	9月	打合せ	当日の流れの確認、必要なもの準備

## ポイント（工夫した点）

- ・多くの参加者を募るため学童保育に通っておられる子供達と保護者の方に声をかけました。
- ・調理室では狭いのでディルームを開放して広く使用し、密にならないようにしました。
- ・食中毒にならないよう、酢めしごはんにしエアコンで会場の温度を調整して開催しました。

## やってよかったこと

- ・地域の人たちとの交流を深めることができました。
- ・親子の絆を深め楽しい思い出になりました。
- ・帰りの時、子供達から「ありがとうございました」と声をかけてもらい企画してよかったと思いました。

## 課題・改善点

- ・コロナ禍の行事のため人を集めてイベントを企画すること。
- ・学校への協力要請がしづらい。
- ・時間が足りなかったという意見もあり、内容検討し工夫する必要があるそう。
- ・両親での参加を期待したが、母親のみの参加が目立ったことが、課題。



## HOW TO ② 高岡連絡会 『女と男のパートナー会議 『女性にやさしいまちづくり』』

### 概要

1. 開催日時：令和3年11月6日（土）午前10時～11時30分
2. 会場：高岡市ふれあい福祉センター
3. 参加者数：53名
4. 講師：マリ・クリスティーヌ氏
5. 参加費用：無料

### Q1 当日の内容はどのようなものですか。

パートナー会議開催にあたり、漠然と講演会か講座を開催しようと考えていたところ、講師は、富山県にゆかりのある異文化コミュニケーターのマリ・クリスティーヌさんをお願いすることになりました。

マリさんには男女共同参画に関する講演会を依頼しました。その後、マネージャーの方と打ち合わせを重ね、演題には「女性にやさしいまちづくり～真のSDGsの実現を目指して～」でどうかと提案がありました。

このテーマは、パートナー会議のテーマとしてとても適していると感じました。日本は指導的地位の職業に占める男性の割合が高く、まちづくりを主導してきたのも男性で、男性目線のまちがつけられてきたと思います。女性にやさしいまちづくりは、私たち推進員の活動目的である地域における男女共同参画の普及啓発と大いに関係があると考えます。マリさんがどのようなお話しをされるのか推進員の私たちも大変興味があり、また、住民の方々にもぜひ聞いてもらいたいと思いました。

### Q2 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

当日は、名古屋のホテルに滞在しているマリさんと会場をオンラインでつなげました。

講演会では、マリさんご自身の紹介から始まりました。マリさんは、4歳まで日本で暮らし、父親の仕事に伴い、ドイツ、アメリカ、イラン、タイ等で生活しました。その後日本に帰国し大学に入学、芸能界でも活動するようになります。

マリさんは諸外国の子どもと女性の人権を保護する活動をしています。その経験から、差別的な扱いを受ける子どもや女性たちの生活についてお話しされましたが、とても衝撃的なものでした。特に女性への差別は、世界中どこにでも存在するそうです。

SDGsの5番目の目標「男女平等を実現しよう」は、途上国だけの問題ではないと言われました。先進国が取り組むべき目標でもあるそうです。

マリさんは男女共同参画と女性にやさしいまちづくりについて、次のようにお話しされました。

男女共同参画とは、男女が性別にかかわらず政治、経済、地域等あらゆる分野での参画できる機会が保証されることです。女性も個性と能力を活かしてまちづくりに参画することが大切です。女性は生活者なので、その生活者目線で作られたまちはすべての人に住みやすい、やさしいまちとなることでした。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	8月	打合せ	会場を決定
2	9月	打合せ	講師を決定、講師に講演依頼 講師と日時を調整
3	10月	準備	チラシを作製、配布 当日のシナリオを作成 当日の役割分担を決定
4	10月	リハーサル	オンラインで講師と通信テスト 会場で機器を接続し、通信及び音響テスト

## ポイント（工夫した点）

- ・会場は、市内全域からアクセスしやすい市中心部に位置する場所を選び、駐車場を十分確保できる施設とした。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、講演会中止のリスクを避けるため、講師は来場しないオンライン講演会とした。
- ・講演会への参加方法を、会場での参加とオンラインでの参加を可能とした。来場が難しい参加者や新型コロナウイルスへの感染を心配する参加者はオンラインでの参加を、また近隣住民や通信機器の使用に不安がある参加者は会場での参加を選ぶことができた。
- ・「女性にやさしいまちづくり」がテーマなので、連合自治会長への講演会の開催を案内した。

## やってよかったこと

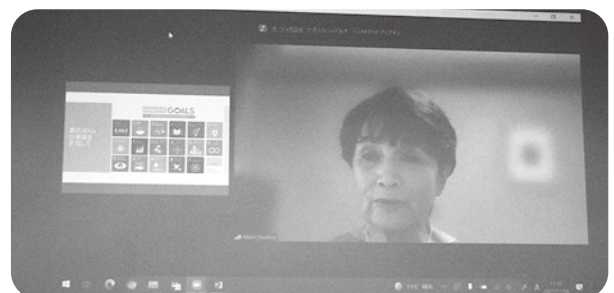
実際に会場で機材を接続してリハーサルを行いました。機材の不足に気づき、当日までに用意できた。

参加者にアンケート用紙の記入を依頼しました。今回の講演会をどのように知ったかという質問に対する回答は、今後の活動で講演会等を開催する際の参考にしたい。

会場とオンライン参加の2種類の参加方法を用意したことについては初めての試みだったが、どちらの方法にも参加申し込みがあったため、今後も会場とオンラインの併用を選択肢に入れたい。

## 課題・改善点

- ・会場でのリハーサルは、機器の接続だけではなく、照明や空調について施設の担当者と話しをすべきだった。当日は会場がやや寒いように感じた。また、会場が明るすぎて前方のスクリーンが見えにくかったです。参加者が講演に集中できるよう配慮すべきだった。
- ・アンケートの回答に、富山県女性活躍推進課からの説明と講演会について、資料が欲しかったというものがあつた。スクリーンに映すパワーポイントを印刷したものや、概要を記載したレジюмеを配布すれば参加者の理解もより深くなったと思う。
- ・講師が実際に会場に来て講演するものだと考えていた参加者がいた。オンライン講演会であることをもっと強調する必要がある。





# HOW TO ③ 射水市連絡会『オレンジキャンペーンin射水 ～がんばる女性をみんなで応援～』

## 概要

1. 開催日時：令和3年3月6日（土）10時～3月7日（日）15時
2. 会場：クロスベイ新湊 2階 iCNホール

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

SDGsの目標5では『ジェンダー平等を実現しよう』が掲げられています。ジェンダー平等を促進するため、射水市に拠点を置く女子ハンドボールチーム・アランマーレ、同じく射水市に立地する富山県立大学と射水市が主催となり、当推進委員会も協力しながら、国際女性デー（3月8日）に合わせて「オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性をみんなで応援～」を実施いたしました。

このキャンペーンでは、SDGsの目標5『ジェンダー平等を実現しよう』のロゴカラーであり、アランマーレのチームカラーでもある“オレンジ色”をモチーフにし、様々な啓発事業を展開しました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

国際女性デー（3月8日）に向けて2日間にわたり展示イベントを行い、当推進委員会も展示及び男女共同参画啓発ティッシュの配布を行いました。また、キャンペーンに合わせて同時開催イベントが実施され、キャンペーンと同時開催イベントを巡るスタンプラリー&抽選会も行いました。

#### ■展示内容

- ①富山県立大学、富山県立大学地域協働研究会COCOS
  - ・SDGsやジェンダー平等に関する掲示、メッセージボード
  - ・富山県立大学女性研究者パネル
- ②アランマーレハンドボールチーム
  - ・チームに関するパネル・グッズ等
- ③射水市
  - ・射水市男女共同参画推進委員会の活動報告、男と女のなかよしカルタ

#### ■同時開催イベント

- ・射水市まちづくり関係団体活動展
- ・おいしいマルシェ イベント
- ・スタンプラリー&抽選会

## スケジュール

順序	時期	内容	詳細
1	12月～1月	実施内容等 打ち合わせ	キャンペーンの趣旨・日程・場所・実施内容を決定
2	2月	チラシ作成・配布	チラシを作成し、配布。ホームページ、市広報でも周知。
3	3月	事前打ち合わせ・ 会場準備	当日のスケジュール確認、会場設営

## ポイント（工夫した点）

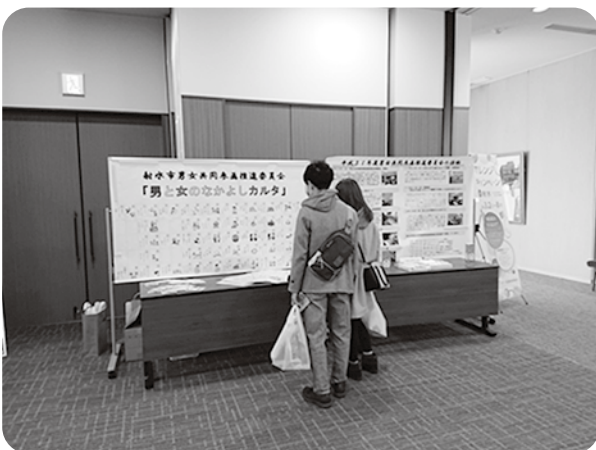
- ・ロゴカラーのオレンジ色で統一したキャンペーンを提唱していたため、奇しくも当推進委員会オリジナルのジャンパーもちょうどオレンジ色だったので、推進員全員で張り切って着て行った。
- ・誰にでもわかりやすい啓発活動にするため、募集した川柳で作った「男と女のなかよしカルタ」や越中だいもん凧まつりに参加したときの大きなPR凧等、より具体的な展示に心がけた。
- ・男女共同参画川柳入りのティッシュも配布して、男女共同参画社会の実現を訴えた。

## やってよかったこと

- ・会場では他団体や研究者の活動を知ることができたばかりか、イベント広場で女性ならではのマルシェが多数賑わっており、生き生きと働く女性の姿に出会うことができた。
- ・チームカラーがオレンジ色であるアランマーレ女子ハンドボールの選手たちも参加していて、ハンドボールにかける力強く熱い思いも聞くことができた。
- ・まさにこの女性たちのエンパワーメントを一層推し進めなければならないと、改めて認識する機会ともなった。そして女性自ら持つパワーで自らの可能性を広げていける社会を目指して、当会がんばる女性を応援し続けたいと強く思った。

## 課題・改善点

- ・女性活躍に向けた取組を、幅広く周知・啓発していくことが重要であると思った。そのためにも、継続してキャンペーンを取り組んでいくことが大切だと思う。また、推進員の啓発活動の中でも、がんばる女性を応援するような活動を取り組んでいきたい。



## 概 要

1. 開催日時：作品展示 令和3年8月20日～27日 表彰 令和3年8月21日
2. 会 場：アップルヒル
3. 賞：最優秀賞1名（副賞：1万円分ギフト券）、優秀賞 2名（副賞：3千円分ギフト券）

## Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

新型コロナウイルスの影響により、これまで行っていたような人を集めたイベントの開催は難しいのではないかと、という意見が多く出ました。このような状況下でも可能な催しを検討した結果、密にならずに接触せずに行える、フォトコンテストを開催することとしました。

フォトコンテストのテーマは、コロナ禍の影響でテレワークにより在宅時間が増えたご家庭も多いと思い、おうち時間に家事育児を楽しんでいる男性の写真としました。コンテストを行うことで、若者には男性の家事育児参加のきっかけを作り、高齢者には男性も家事育児をすることは珍しいことではないと意識づける、といったことができるのではないかと考えました。

市内ショッピングセンターの協力により、応募された作品を展示できることになり、より開催の効果を広げることができました。

## Q2 当日の内容はどのようなものですか。

洗濯・掃除・料理などの家事や子育てを楽しんでいる男性の写真32作品の応募がありました。中には気軽にスマホで撮った写真もあり、家事育児を楽しんでいる雰囲気伝わってきて、コンテスト開催した意味があったと感じました。

ショッピングセンターでは広めの場所を提供いただいたことにより、全作品に加え作品のコメントも添えることができました。多くの人が行き交う場所に展示したことにより、買い物客が足を止めて鑑賞し、多くの人目に触れました。中には全ての写真に加え、コメントまでじっくりと読んでいる方もおられました。

作品展示を通して、性別に関わらない家事育児の推進に対し関心を持っていただくとともに、男女共同参画とは決して難しいことではなく身近にあるということを知ることができたと考えています。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	4月	定例会	実施内容を協議、決定
2	5月	定例会	日時・場所、決定
3	8月	写真審査	写真審査、最優秀賞1名、優秀賞2名
4	8月	写真展示	必要備品、レイアウトの確認



## ポイント（工夫した点）

フォトコンテストの写真の選定の時期が、県内のコロナ警戒レベルがステージ3への移行と重なりました。そのため推進員が一度に集まる形ではなく、審査の時間をもうけ、都合がよい時間帯に来ていただき各自点数をつけていくスタイルで写真審査を実施しました。

市内小学校、写真部を有する近隣高校、新川青年会議所会員にチラシを配布し、多くの方に募集していただけるよう広報活動をしました。

ショッピングセンターでは入口付近に展示会場を設け、たくさんの人の目に触れるようにしました。

写真とともに、タイトルとエピソードも紹介し、足を止めて鑑賞してもらえるようにしました。

## やってよかったこと

写真応募のコメントには、「息子が「お手伝いする！」というので、はじめての洗い物に挑戦！父子のチームプレーで洗い物を片付けました」「娘と遊んでいる時に床の汚れが気になったら、抱っこをしながら掃除をしています。その様子を見て娘もまねして掃除をしようとします。2人で遊びもかねて掃除しています」など、男性が家事と育児の両方に参画する様子が書かれていました。

楽しんで家事育児に取り組んでいる写真を見て、フォトコンテストに参加されなかった家庭でも、今日から取り組んでみようと思っただけなのではないかと思います。また実際にフォトコンテストに参加した方も、買い物に来た際に見ていただけることで、写真を撮影した当手を振り返り、継続して家事育児に取り組んでいただけたらと思います。

## 課題・改善点

アンケートなどを取っていないので、作品を鑑賞した人数がわからない。



## HOW TO ⑤ 氷見連絡会 『防災意識を高めるために』

### 概 要

1. 開催日時：令和2年8月27日 PM7：00～
2. 会 場：氷見市いきいき元気会館
3. 参加者数：33名
4. 講 師：NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち 理事長 大坪 久美子 氏
5. 参加費用：無料

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

氷見市連絡会では、令和元年度に、自然災害及び子供を取りまく環境やライフスタイルの変化について研修会を実施した。令和2年度は、自然災害に対する防災意識を高めることに観点をしぼり、何を知るべきなのか、また、何ができるのか、について考えてみることを目的として研修会を開催した。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

研修では、実際に災害がおきた避難所生活では、想定外のことが起こり、その都度対処しなければならないということであった。

また、様々な災害に備えるには地域住民の協力が不可欠であり、いかにして、日頃から住民に防災の必要性を感じてもらうかが重要であると感じた。そのためには、自助・共助・公助が重要であり、男女共同参画のメンバーの一人として、女性の参画を推進していかなければならないと感じた。また、地域における自主防災体制の強化を図っていくため、可能な限り協力していかなければならないと感じた。

### スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	6月	役員会	日程及び実施内容の計画等
2	6月	役員会	研修会講師選定
3	7月	内容調整打合せ	講師派遣依頼・スケジュール、分担検討
4	8月	開催	講演会開催

## ポイント（工夫した点）

- 1 地域学習委員会やボランティア委員会では継続的な活動が行われているが、今回研修委員会でも継続的な活動に取り組んでみようということで、概略的にはあるが、災害についての知識や対応等の知識を得ることができた。
- 2 コロナ禍であり、活動に制限される中、研修会開催については、会議場所の環境に配慮して打合せや研修会を開催した。

## やってよかったこと

講演内容から、災害に備えて具体的に何をしておくべきかについて学んだ。

地域防災力を高めていくためには、自助力を高めるため、家庭での話し合いや準備する物品のリストアップを行う。共助では、あらかじめ地域住民の中で高齢者、障害者、子供、傷病者、外国人などの確認が必要だということ。また、公的な支援では、この講演会を聞き、推進員のメンバーで各地域での積極的に参加していかなければならないという自覚が芽生えたと思う。

## 課題・改善点

毎年、市内で防災に関する行事（訓練等）が企画され、実施されているが、この場に推進員も参加ができれば良いと思う。



# HOW TO 6 滑川市連絡会 『地域のイベントを通しての啓発活動』

## 概要

- 開催日時：①公民館まつり 令和3年10月30日（土）  
②親子クリスマスケーキ作り 令和3年12月11日（土）
- 会場：①②ともに滑川西地区公民館
- 参加者数：①約300名、②約30名
- 講師：①なし、②せんぼ製菓 千保様

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

滑川西地区公民館では様々なイベントを開催していますが、公民館まつりと親子クリスマスケーキ作りは老若男女問わず、ご家族で参加されるイベントであり、男女共同参画啓発に適していると考え、毎年協賛しています。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

#### ・公民館まつり

西地区公民館で開催された公民館まつりにて、啓発グッズを配布し男女共同参画について理解と浸透を図りました。例年は男女共同参画推進事業として募集のあった「イクメン・カジダン写真」等の展示も併せて行っていますが、今回はコロナウィルス感染症対策の徹底と規模縮小しての開催となり写真展示は見送りましたが、久しぶりの公民館でのイベントとあって、たくさんの方に来場いただき、ミニライブや屋台コーナー等、楽しいひと時となりました。

#### ・クリスマスケーキ作り

せんぼ製菓店さんを講師にお招きし、クリスマスケーキ作り教室を開催しました。初めの挨拶として推進員より男女共同参画事業についてPRを行い、啓発グッズを配布し理解と浸透を図りました。

コロナウィルス感染症対策を徹底しての開催となりましたが、子供達は、お父さんお母さんと協力しながら、一生懸命思い思いのケーキを作り、楽しいひと時を過ごしました。

## スケジュール

### ●公民館まつり

順序	時期	内容	詳細
1	9月	事前打合せ	実施内容・展示物について協議決定
2	10月	最終打合せ	販売物の数量決定等
3	前日	会場設営	会場設営

### ●クリスマスケーキ作り

順序	時期	内容	詳細
1	11月	事前打合せ	前回(昨年)の内容確認と道具等の追加購入について協議
2	前日	会場設営	会場設営



## ポイント（工夫した点）

活動費を利用して滑川市のマスコットキャラクターである「キラリン・ピッカ」のイラストが描かれた滑川市男女共同参画連絡会特製のクリアファイルを製作し、そのクリアファイルに啓発グッズを入れて来場者に配布しました。

配布した際、来場者の方から「可愛らしいぜ」や啓発グッズ数種類がクリアファイルにまとめて入っていることから「受け取り易い」等の感想をいただき、大変好評でした。

活動費は限られていますが、今後も啓発活動に有効なグッズ等を製作したいと考えます。

## やってよかったこと

新型コロナウイルス感染症により、イベントが軒並み中止となる中で、公民館まつりも毎年開催している8月から感染状況が落ち着いた10月に変更して開催したり、クリスマスケーキづくりも場所を公民館のロビーに変更する等、感染防止対策を徹底して開催することができました。久しぶりの公民館のイベントであったことから、たくさんの方に来場いただき、イベント自体も好評であったことから、やってよかったと感じました。

## 課題・改善点

クリアファイルを製作し、啓発グッズとセットにして配布しましたが、男女共同参画とはどのような事か、どういう活動を行っているか推進員をやっている私たちも分かっていない点もある。また説明が難しい為、男女共同参画に関するチラシを作成し、クリアファイルに同封して配布すれば更なる啓発に繋がると思いました。





## 概 要

1. 開催日時：令和3年11月20日（土）
2. 会 場：K-HALL
3. 参加者数：12人
4. 講 師：川口宗治氏
5. 参加費用：無料

## Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

男女共同参画黒部市連絡会では、日頃から男女共同参画意識の普及啓発のため、講演会や地区活動の開催等、様々な活動を行っています。今回の講演会は、2年前に計画したものの一度中止（新型コロナウイルスの感染拡大）した終活セミナーを、再び開催することにしました。

近年、高齢化社会の進展により、残される配偶者も相続人の高齢化、要介護高齢者の増加、離婚・再婚の増加等、相続に関する問題は増える一方で、相続法も改正されました。この状況下において、相続は法律、税金、不動産、保険など多くの分野が絡むため、問題が起きた時に総合的に問題を解決できることができません。

講師をお願いした川口先生に「終活セミナー」について相談したところ快く引き受けていただき、開催に至りました。

終活セミナーについて、「終活」というと「人生の終わりのための活動」であり暗く不安なイメージを描きがちですが、黒部市連絡会では「終活」は誰にでも必要なことであり、これからを前向きに自分らしく、よりよく生きるためのものと考えております。

## Q2 当日の内容はどのようなものですか。

## ●相続問題を考えるセミナーの要旨（講師資料から引用）

## 1. 税金よりむしろ…

相続は相続税がかかる人だけの問題、と思っていませんか？確かに「相続税」がかかる人はほんの一部でも「相続」は誰にでも起こります。家族間で無用なトラブルをなくすためにも、誰もがあらかじめ準備しておく必要があります。

## 2. 少しでも早い準備を

まだまだ先の話だから…ではありません。相続が起こるのはまだ先でも、「相続対策」は早くから準備しなければならいこともあります。また、相続が起こった後でも知っておくべきことがあります。少しでも早い準備が安心につながります。

## 3. 多方面からみる

必要なのは税金の知識だけではありません。その税金を引き下げるためには不動産や法律の知識が必要、また事前の対策には保険など金融の知識も必要です。各分野の専門家と相談者をつなげる専門機関に相談することも必要です。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	6～9月	定例会	・実施内容を協議、決定 ・開催日時、場所の決定 ・チラシ作成
2	10月	定例会	・開催予算の確定 ・役割分担、スケジュールの確認
3	10月	参加者募集	・チラシ配布 ・Facebook告知
4	11月	当日	・会場の設営、受付、進行など

## ポイント（工夫した点）

- ・セミナーの開催にあたり、このテーマはデリケートな内容ではあるが、実際には県内でも起こっている身近な問題と聞き、参加者が身構えないようにまた、参加しやすいように告知内容や会場選びなど配慮した。
- ・新型コロナウイルス感染対策のため、zoomでの参加も可能とした。
- ・今回の参加者は推進員が多かった為、事前に知識を勉強するようにした。
- ・当日スムーズに進行ができるように役割分担を決め、事前準備も入念に行った。
- ・当日は最後に質問が多く出て、参加者の関心の高さが伺えた。参加者の理解と知識が深まったと感じた。

## やってよかったこと

- ・「相続問題」という言葉で重い課題だと身構えていたが、あっという間に講演時間が終了した。メモを取る参加者が多く、関心を持っていただけたと感じた。
- ・他人には相談しにくいデリケートな問題であるとともに、相続問題が起きた時のダメージは計り知れず、推進員のみではなく、もっと多くの方に周知する必要があると実感した。
- ・イベントのたびに打ち合わせや反省会を行ったため、推進員同士の親睦が深まった。

## 課題・改善点

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が収束すれば、自治会や社会福祉協議会、地区内の他の関連団体などにも協力をあおいで、今後はより一層活動の場を広げたい。



## HOW TO ⑧ 砺波市連絡会 『DV防止街頭啓発活動』

### 概 要

1. 開催日時：令和3年11月14日（日）
2. 会 場：市内3店舗  
（イオンモールとなみ、MEGAドン・キホーテUNY砺波店、アルビスとなみ店）
3. 参加者数：推進員23名
4. 参加費用：無料

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

「砺波市男女共同参画推進計画（第3次）」の重点課題に「男女共同参画社会に向けた安全・安心な暮らしの実現」を掲げています。また、重点取組として「男女間のあらゆる暴力の根絶」を設定しています。

市と市男女共同参画推進員連絡会では、市人権擁護委員、市民生委員児童委員と合同で、DV講習会を実施しDVへの理解を深めてきました。毎年11月には、「女性に対する暴力をなくす運動」及び「とやまパープルリボンキャンペーン」にあわせて、DVとは何かを正しく知ってもらい、市民全体でDVを防止する機運の醸成を図ることを目的として、街頭啓発活動を実施しています。本年は新型コロナウイルス感染症に留意しながら、対策を取って実施しました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

当日は、市内のスーパー、ショッピングセンター3店舗にて、市男女共同参画推進員がのぼり旗を掲げ、推進員のジャンパーを着用し、新型コロナウイルス感染症予防対策として消毒、マスク、使い捨て手袋を着用し、啓発活動を実施しました。DV防止啓発物品として、「なくそうDV！」チラシ（富山県作成）、「女性の悩み相談」チラシ（砺波市作成）、「男性相談による男性のための電話相談」のチラシ（富山県作成）、計3枚と不織布マスク500セットを配布しました。

### スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	7月	役員会・全体会	事業の実施を提案・承認
2	7月	企画委員会	実施内容を協議
3	10月	役員会・事務局	店舗との調整
4	10月	役員会	実施内容の決定
5	11月	全体会	配布物の準備
6	11月	街頭啓発活動	市内3店舗にて啓発物を配布

## ポイント（工夫した点）

- ・例年11月23日の祝日に実施していましたが、啓発を効果的に推進するため、女性に対する暴力をなくす運動の早い時期の休日に実施することとしました。
- ・市で実施している相談窓口の日時を記載した「女性の悩み相談」のチラシを配布しました。
- ・DVの被害者は女性に限らないことから、「男性相談員による男性のための相談窓口」のチラシもあわせて配布しました。
- ・例年チラシとあわせてポケットティッシュを配布していましたが、令和2年度から、必需品になっているマスクに変更しました。
- ・推進員のジャンパーを着用し、のぼりを掲げることで、チラシを受け取っていない来店者や店員の目に留まるようにしました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、配布物の準備と啓発活動の際には手指の消毒、手袋の着用を実施しました。

## やってよかったこと

- ・店舗の出入り口付近で啓発活動を行いましたが、一度通りすぎた後に「のぼり旗」を見て声をかけてこられた方がいらっしゃいました。日曜のスーパー、ショッピングセンターで実施したことで、女子高生をはじめ、若い世代にも興味を持ってもらえました。
- ・興味を持って質問をした方や、チラシの説明を熱心に話を聞く方がいました。

## 課題・改善点

- ・啓発活動に当たっては、講習会を受けて納得するだけでなく、質問への対応や説明ができるように、理解をより深める必要があると感じました。
- ・効果的な啓発活動のため、また、参加できる推進員が増えてきたことから、実施店舗がもう1店舗あってもよかったです。
- ・市内3か所、1日のみの啓発活動のため、週間に合わせて、継続して啓発活動を実施したいです。
- ・公民館祭りの時期でもあり来館者も増えるので、公民館とも連携し実施したいです。





# HOW TO ⑨ 小矢部連絡会 『おやベイクボスプロジェクト活動』

## 概要

1. 開催日時：平成29年度～令和3年度
2. 会場：各会場
3. 参加者数：1,110名／5年
4. 講師：先進的な活動を実施している事業所の代表者 他
5. 参加費用：無料

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

平成29年度に、小矢部連絡会は3回のイクボス研修会を行い、小矢部市と市内事業所合わせて、11のイクボス宣言事業所の応募を頂きましたが、市内には170に近い事業所があり、推進員は、現状の組織体制では限界を感じとりました。定例会でその対策を検討した結果、5つの提案に絞りました。①目標の設定は市内事業所の30%に当たる50事業所以上必達 ②期間は今回の活動で11事業所の応募がありましたので、年間10事業所の5年間とし設定いたしました。(平成29年度～平成33年度・令和3年度) ③平成29年度の市民のつどいの講師はイクボス提案者のFJ代表理事の安藤哲也氏を招き本気度を示す ④内閣府男女共同参画局の交付金の申請 ⑤イクボスPJの組織の立ち上げ。この5つの目標を掲げ推進名を、「おやベイクボスプロジェクト活動」としました。第1ステージは平成30年度～平成31年度(令和元年度)、第2ステージは令和2年度～令和3年度としました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

小矢部市にイクボスを増やす為、小矢部連絡会では、平成29年度の市民のつどいに、安藤哲也氏の講演を桜井市長に直接その必要性を要望し実現しました。又、事務局より費用増が予想される為、平成29年度に申請していた、国の「女性活躍推進事業」の交付金申請も決まって、平成30年度から「おやベイクボスプロジェクト」を立ち上げて、全ての活動テーマを『イクボス推進』とし、小矢部市男女共同参画推進員の全組織共通のテーマとして取り組みました。

1. プロジェクト名『おやベイクボスプロジェクト』
2. 目標 『イクボス宣言事業所50事業所以上達成』期間：H29年度～R3年度(実績：61事業所)
3. 組織 8名／イクボスメンバー(PJ長、統括副PJ長、6名全員副PJ長)
4. 活動 H30実績：9回／年、H31実績：7回／年、R2実績：5回／年、R3実績：7回／年
5. 研修会 ①イクボス研修会開催：2回以上／年・対象者：事業所、推進員(実績：10／5年間)  
②市民のつどいにてイクボス講演や富山県の催しに参加(実績：3回／5年間)
6. イクボス寸劇の開催 「笑顔満開！田中家の人々！」など
7. 小矢部市イクボス表彰 平成31年度から令和2年度にイクボス宣言した事業所対象  
(R4年2月13日表彰) 市長賞…(株)ゼフィール 奨励賞…(有)ダイワ精工、(株)スリーティ運輸

## スケジュール

順序	時期	内容	詳細
1	通年	イクボス普及啓発事業	推進員が事務所を訪問し、イクボス宣言登録依頼
2	7月	出前講座	寸劇「笑顔満開！田中家の人々！」
3	11月	出前講座	寸劇「笑顔満開！田中家の人々！」
4	12月	出前講座	寸劇「続・田中家は笑顔満開」
5	1月	出前講座	寸劇「笑顔満開！田中家の人々！」
6	2月	イクボス宣言登録	登録式は中止



## ポイント（工夫した点）

- ・平成29年度の早い時期に、魚津市職員の吉田健一氏を講師に招き、市職員や全推進員で研修会を開催。12月の市議会定例会で、ある議員からイクボス企業同盟とやまの加入をしてはどうかとの質問に、桜井市長は「今進めている所であり、今月に、小矢部市のイクボス宣言と同時に、イクボス企業同盟とやまの加入を予定している」と方針が明確になった。
- ・国の女性活躍推進事業の予算申請、ファザーリングジャパン代表理事の安藤哲也氏の講演の手配など一気に「小矢部市のイクボス推進は推進員の力で推進していく」という推進員の気構えが出来た。
- ・令和2年度には前年度のイクボス表彰事業所を講師に招き、パネルディスカッション形式での研修会を実施した。

## やってよかったこと

- ・【組織改革】 事業、交流、調査、広報の4部会から、調査と広報を一つにまとめて調査広報部会とした。又、新たに「おやベイクボスPJ部会」を設けた。なお、この部会の構成は、執行部4名、研修会担当の交流部長と会計で2名、推進員の中から現役の振興会長、町内会長経験の2名、PJ全員通常の役員会にも出席させた。この8名(女4名・男4名)の体制とした。又、プロジェクトメンバーの名刺を作成し、事業所訪問の体制を整えた。
- ・【事業所の社長に直接訪問】 訪問時に、PJで作成したDVD「おやベイクボス宣言事業所募集のてびき」を、事業所の社長に説明し、直接渡した。これはやってよかったと思っている。もう一度聞きたいと言う事業所が数多くあった。
- ・おやベイクボスロゴの発表及びイクボスステッカーを作成し、イクボス宣言事業所に配布した。
- ・イクボス10カ条のクリアファイルを作成し、市民のつどいや、事業所に配布した。

## 課題・改善点

- ・学校、病院など、長時間労働が課題の職種や、地域自治体の組織は、男性中心の世界。この業種は、働き方改革の本丸であり、常に意識して取り組む必要があると感じた。
- ・有休の消化や、長時間労働の規制は、生産性向上が同時に追いついて行かなければならず、働き方改革には、ムダな仕事の排除や、付加価値の高い仕事の比率を上げる研修会が、必要と強く思った。



# HOW TO ⑩ 南砺市連絡会 『男女共同参画推進啓発 チラシの作成』

## 概要

1. 開催日時：令和3年5月8日から12月23日
2. 会 場：アスモ2階大ホール他
3. 参 加 者：男女共同参画推進員南砺市連絡会員

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

活動テーマや内容は支部ごとに意見を出し、役員会にて決定していましたが、支部の枠を超えた形で意見交換したいと考えました。そこで、5月8日に行われた富山県の全体研修会に引き続いて南砺市連絡会の全体研修会を開催し、令和3年度の活動内容についてワークショップ形式で話し合いました。推進員からは、「TPOに沿った啓発物で男女共同参画推進を啓発したい」「男性の家事参画や育児参画の好事例を募集し、周知したい」「どんな行動や言葉がハラスメントになるか発信したい」などの提案がありました。

この結果、TPOに沿った男女共同参画推進に資する啓発チラシを作成することになりました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

啓発チラシのテーマを3種類（①男女共同参画について(一般向け・子供向け)②ハラスメント防止③イクボス宣言やワークライフバランスなど(新成人向け)）とし、全推進員(53名)に作成グループの希望を取り、3グループに分けました。

9月16日に行った南砺市連絡会全体研修会で各グループの初顔合わせを行い、作成スケジュールを調整し、リーダーを中心に作成。役員会で最終調整を行い12月に完成しました。

啓発チラシは街頭や地域の各種イベント等で配布し、男女共同参画推進を啓発していきます。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	5月	全体研修会	富山県男女共同参画推進員全体会后、市連絡会の全体研修会を開催し、令和3年度活動内容についてワークショップ形式で意見交換
2	7月	役員会	令和3年度の活動テーマ決定。男女共同参画を推進する啓発チラシの作成 啓発チラシの内容 ①男女共同参画について(一般向け・子供向け) ②ハラスメント防止(NGワード) ③イクボス宣言やワークライフバランスなど(成人式にて配布用)
3	8月・9月	作成グループの意向調査 スケジュール調整	作成グループの意向調査後、各グループで啓発チラシの作成スケジュールを確認
4	10月・11月	チラシ作成	グループ毎にチラシ作成。(各グループ2回～4回実施)
5	12月	役員会	各グループで作成された啓発チラシの確認
6	12月	作成した啓発チラシの活用	毎年12月27日に南砺市福野地域で開催される『歳の大市』で作成したチラシを来場者に配布
7	1月	作成した啓発チラシの活用	イクボス宣言チラシを1月9日開催の成人式で配布

## ポイント（工夫した点）

チラシの紙面にイラストを多用して「文字を読む」よりも、見る人に感覚的に理解していただけるようにしました。特に『男女共同参画について（子ども向け）』チラシではイラストから伝えたいことが分かるように工夫しました。『イクボス宣言（新成人向け）』チラシは、市内のイクボス宣言企業の取り組みを成人式出席者に紹介することで、今後の働き方に対する考え方やどのような事業所に就職したいかを考えるきっかけにしていきたいと考えています。また、『ハラスメント防止』チラシでは様々な場面で起きるハラスメントの状況の説明や相談できる窓口の連絡先を記載しました。

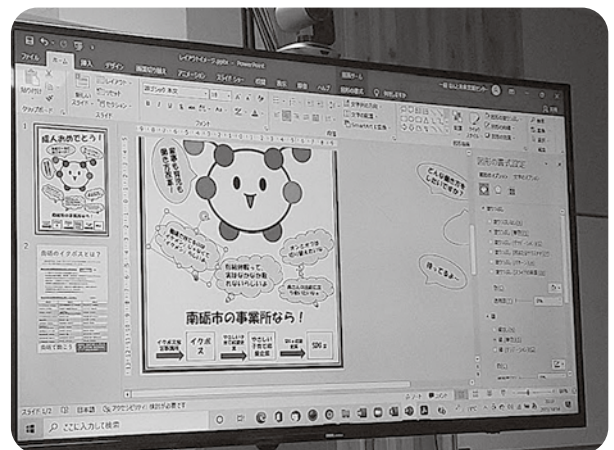
## やってよかったこと

5月の市連絡会の全体研修会においてワークショップ形式で意見交換したことで、他の推進員の興味のあることや関心事、課題に思っていることが共有できました。またチラシ作成の過程で推進員自身が担当するチラシのテーマについて、より一層認識を深めることが出来ました。このコロナ禍で例年通りの活動が予定通りにできない状況ではありますが、啓発チラシを作成したことで大きな達成感を得ることができました。

## 課題・改善点

チラシの各テーマについて知識が足りないと感じたところがあったので、推進員の中でもっと専門性を高めて市民の皆さんに理解してもらえるようにしたいと思いました。また、グループごとに作成したことから紙面構成に統一性がありませんでした。今後、紙面構成や記載内容について見直す必要があると思います。

今年度取り上げることが出来なかったテーマについて、次年度以降順次作成したいと思います。



# HOW TO ⑪ 舟橋村連絡会 『男女共同参画の推進PR について』

## 概要

1. 開催日時：令和3年11月3日（祝・水）
2. 会場：舟橋会館
3. 参加者数：約150名程
4. 講師：なし
5. 参加費用：なし

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

男女共同参画推進員舟橋村連絡会では、性別や年齢に関係なく誰もが能力を発揮し活躍できる社会づくりを目指し活動しています。その中で例年行っているPR活動です。

また、男性へのPRを実施することで、男性の家庭への参画が進み、「家庭生活の充実」が図られると考え、企画しました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

舟橋村文化祭の際に、男女共同参画のPRのブースを設けて、来場者にPR活動を実施しました。

## スケジュール

順序	時期	内容	詳細
1	9月	打ち合せ会	実施内容を協議
2	10月	打ち合せ会	事前準備・打合せ

## ポイント（工夫した点）

- ・男女共同参画のPRとして、PRチラシの配布、啓発物品の配布、のぼり旗の設置を行った。

## やってよかったこと

- ・若い世代から、お年寄りまで、幅広い世代にPRすることができた。



**課題・改善点**

- ・コロナ感染症による制限のある中で、例年のイベントができていない。その制限の中でも、実施できるものを検討して実施に繋げたい。





## 男性も女性もともにかがやく

### 「男女共同参画社会」をめざして

男女共同参画推進員舟橋村連絡会

☆男女共同参画って？

「性別に関係なく、対等な立場で、家庭や職場、地域活動等のあらゆる分野に参画でき、共に喜びも責任も分かち合える社会」です。男女共同参画社会基本法では、「男女の人権の尊重」「社会の制度や慣行についての配慮」「家庭生活の活動と他の活動の両立」等を主な基本理念としているほか、近年では、安倍内閣の経済成長戦略の中でも、女性の一層の社会進出等が大きな柱のひとつとして掲げられています。

また、舟橋村においても、平成23年度に「命かがやく 笑顔あふれる しあわせいっぱいいなはし」をキャッチフレーズにスタートした第4次舟橋村総合計画で「性別に関係なく、その個性と能力を発揮できる社会の形成」が基本目標のひとつに掲げられています。

☆お互いに協力する意識を

現在も男女の役割を限定して考える意識は残っており、活動の範囲を制限する要因となっています。

男性が進んで家事や育児に参加したり、女性が職場や地域で能力を発揮するなど、ひとりひとりが豊かな人生を送ることができる社会にするために、性別に関係なく、お互いに協力する意識をもちましょう。



**暮らしの中の男女共同参画**  
ひとりひとりの個性や夢を大切に



**家庭の中の男女共同参画**  
家事や子育てはお互いの協力で



**職場の中の男女共同参画**  
働く男女は対等なパートナー



**地域の中の男女共同参画**  
地域活動は誰もが主役



## HOW TO ⑫ 上市町連絡会 『がんばれ！宮川っ子 ～自分らしさを大切に～』

### 概 要

1. 開催日時：令和3年7月19日
2. 会 場：上市町立宮川小学校
3. 参加者数：児童129名
4. 講 師：なし
5. 参加費用：なし

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

宮川地区では、子どもたちに男女共同参画の理解を深めてもらいたいと考え、数年前よりPTAによる夏の催し「夜空のつどい」と共催して男女共同参画の推進活動を行ってきました。

今年度は、各教室での手作りおもちゃの工作教室を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動が中止となったので、小学校の協力のもと、校内放送で男女共同参画について子どもたちに聞いてもらうことにしました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

宮川小学校児童129名に向けて、ジェンダーをテーマに話をしました。

まず、「男の子だから」「女の子だから」や「男の子のくせに」「女の子のくせに」と言われたことがあるか、その時にどんな気持ちだったかを聞きました。男らしさ、女らしさとは誰が決めたのか。例えば、色でいえば男の子は青や緑、女の子は赤やピンク。女の子はおとなしく、男の子は元気いっぱい。男性は外でバリバリ働いて、女性は子どものお世話や家事をする。これは勝手なイメージで、女の子でも恐竜や青色が好きな人がいるし、男の子でも可愛いものや料理が好きな人がいることや、性別で分けるものではなく、ひとりひとり好きなものや得意なこと苦手なことが違うこと、好きな遊びや好きな色が友達と違って、それはおかしいことではないことを伝えました。

そして、男らしさ女らしさではなく、自分らしさを大切に、自分の好きなことや得意なことにはどんどんチャレンジして、苦手なことにはみんなで力を合わせて、友達や家族が困っていたら声をかけて助け合うことが大切であり、それができたら、もっと仲良く楽しく、ひとりひとりが輝ける未来になることを話しました。また、保護者の方へのお便りを作成し、児童に話した内容についてと、大人の何気ない言葉や行動が子どもたちに大きな影響を与えていることを伝えました。最後に、夏休みに親子で楽しめる工作キットと一緒に配布しました。これから社会を担っていく子どもたちが自分らしく成長していけるように、家族で考え、少しでも意識を変えるきっかけとなれば嬉しいです。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	5月	PTA役員会	実施内容を協議・決定
2	6月	PTA役員会	代替案の協議・決定 小学校へ依頼
3	7月		放送原稿の作成 保護者向けお便りの作成 ステッカー貼り、工作キット・お便りの袋詰め
4	7月		リハーサル・事前打ち合わせ

## ポイント（工夫した点）

当初の予定では、大勢の人と交流できるPTA行事の中で男女共同参画の推進活動をする予定でしたが、感染症の影響により対面での活動が中止となったので、学校の放送を通して男女共同参画についての話をすることを考えました。「男女共同参画」は子どもたちにはあまり馴染みのない言葉だと思い、内容については、「ジェンダー」という子どもたちに身近なテーマにし、出来るだけ分かりやすい言葉を選んで話しました。

親子で楽しめる工作キットに男女共同参画のステッカーを貼り、保護者向けのお便りと一緒に配布しました。男女共同参画について親子で考えるきっかけとなればと思いました。

## やってよかったこと

校内放送を通してですが、これからの社会を担っていく子どもたちに向けて話ができただけは、とても良い機会でした。今の子どもたちは、親の世代からみても、男女共同参画の考え方が自然に身につけていると感じます。そんな子どもたちの自分らしさを守ることや普段の何気ない言葉や行動による影響力について、保護者にも伝えることができたことは男女共同参画社会を実現するうえで、とても意味のある活動だったと思いました。子どもたちにとって、よりよい未来となることを願います。

## 課題・改善点

感染症の影響により行事が中止となり、急遽放送を通しての活動になってしまったので、もっと子どもたちに印象が残るように、皆で楽しめて体験できるような活動をwithコロナで考えていきたいです。今回はジェンダーについて話をしましたが、男女共同参画には他にも身近で取り入れやすいテーマがあるので、少しずつ子どもたちに伝えられたらと思います。



# HOW TO ⑬ 立山町連絡会 『男女共同参画推進条例 作成～施行』

## Q1 開催の経緯(なぜ実施しようと思ったか等)、テーマ選定のポイントを教えてください。

日本では平成11年に男女共同参画社会基本法が施行され、富山県では平成13年に富山県男女共同参画推進条例が、また、県内6市2町においても施行されました。

立山町は男女共同参画推進基本プランを平成18年度に策定し、現在は第4次までと進んでいますが、残念ながら未だ条例施行にはいたっていませんでした。時代は「令和」となり、家庭や職場、学校、地域、その他の社会に対してワークライフバランスを保つこと、固定的役割分担意識の解消や女性活躍、さまざまな性に対する理解等々、全ての人が対等な立場になり個人としての尊厳が重んじられ互いに支え合いながら参画できることなどが、より一層求められ、私たちの意識の環境は大きく変化してきました。そこで当会としては、町民の皆さまに男女共同参画社会への実現の必要性をお伝えしたり、協力を得ていくためには、やはり条例が必要と思い作成、施行の決意にいたりしました。

## Q2 作成～施行までの内容とスケジュール

- |      |         |    |                                                                |
|------|---------|----|----------------------------------------------------------------|
| 令和2年 | 9月～令和3年 | 4月 | 立山町男女共同参画推進条例 条例文(案)作成                                         |
| 令和3年 | 4月      |    | 富山県女性活躍推進課へ条例文(案)について相談                                        |
|      | 5月19日   |    | 当会定例会において条例文(案)について意見交換                                        |
|      | 7月14日   |    | 当会正副会長会議において条例文(案)を決定する                                        |
|      | 8月12日   |    | 意見交換会 条例文(案)・請願書について 等<br>立山町議会議員(2名)・議会事務局、当会会長・副会長・事務局(総務課)  |
|      | 13日     |    | 立山町男女共同参画推進条例の制定を求める請願書を作成                                     |
|      | 16日     |    | 立山町男女共同参画推進条例の制定を求める請願書を提出                                     |
|      | 31日     |    | 立山町議会運営委員会にて請願書を本会議に上程することを協議                                  |
|      | 9月13日   |    | 9月議会 本会議 請願書を総務教育常任委員会へ付託                                      |
|      | 14日     |    | 総務教育常任委員会にて請願書の採択「議員提出議案」とすることに決定                              |
|      | 29日     |    | 本会議にて請願書 採択                                                    |
| 11月  | 16日     |    | 意見交換会条例文(案)について<br>総務教育常任委員会議員(5名)・議会事務局、<br>当会会長・副会長・事務局(総務課) |
| 11月  | 16日～30日 |    | パブリックコメント募集                                                    |
| 12月  | 2日      |    | 議会運営委員会 条例の提出について協議                                            |
|      | 6日      |    | 本会議議員提出議案として提出(賛成議員連名により)提案理由説明                                |
|      | 13日     |    | 本会議条例(案)を総務教育常任委員会へ付託                                          |
|      | 14日     |    | 総務教育常任委員会にて条例(案)採択                                             |
|      | 17日     |    | 本会議(委員長報告、討論、採決) 条例施行が可決となる                                    |

## ポイント（工夫した点）

- 条例文を作成するにあたり、富山県、入善町、朝日町、そして近年になって条例を施行された鹿児島県日置市、青森市の条例文を参考にしました。
- 基本体制では「推進体制」と「施策の策定に当たっての配慮」を、基本施策では「積極的改善措置」、「災害対応における配慮」を、また、「ドメスティック・バイオレンスの防止等」を条例文に加えました。
- これからは、さまざまな性を理解することが必要と思い、「男女が・・・」の部分を「全ての人が・・・」に変更しました。

## やってよかったこと

ようやく立山町は男女共同参画推進条例が施行され、富山県、富山市、高岡市、射水市、魚津市、砺波市、南砺市、朝日町、入善町にならびました。これからの時代に男女共同参画社会は不可欠ですが、町民自身がそのことに気づき、自分自身のワークライフバランスを考え、家庭、地域、職場（学校）をより良いものへと構築することが大切です。条例施行は、そのきっかけを私たちに作ってくれたのではと思います。子どもたちや若者たちに、中高年に、全ての人に役立ってくれることを願いたいと思います。

## 課題・改善点

条例ができたことはゴールではなく、これから立山町の男女共同参画社会作りへのスタートです。当会は条例のこと、特に基本理念をしっかりと理解し、多くの町民に伝えられるよう、また協力を得られるように、今後の活動内容および計画をしっかりと話し合っていくことが課題と思います。また、男女共同参画推進員は1期2年なので、これらを理解するための研修が毎年、必要と思います。





# HOW TO ⑭ 入善町連絡会 『いきいき百歳体操でコロナ禍を乗り切りましょう』

## 概要

1. 開催日時：令和3年11月14日
2. 会場：栲山公民館
3. 参加者数：58名
4. 講師：長島允夫氏、林田美津子氏、青木昭子氏
5. 参加費用：なし

### Q1 開催の経緯、テーマ選定のポイントを教えてください。

コロナ禍でたくさんの行事が中止となり、公民館や体育館を使用したクラブ活動や運動ができなくなり、とかく引きこもりがちになった現状を憂い、台所やリビングでも比較的手軽に行える「百歳体操」を覚えてもらおうと思ったのがきっかけ。

幸いにも地区公民館で絵画や写真、生け花など作品の展示会が開催されると聞き、大ホールの一角を使って同日開催をすることに決めた。地区住民へは回覧板で案内し、展示会に訪れた人にも参加を呼びかける。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

前日に会場を整え、体操で使う重りやモニターテレビも用意した。

当日は、パイプ椅子の間隔を取り配置し、中央にモニター画面を設置し、準備万端。

事前にお問い合わせした講師は3名で、講師の指示とモニター画面に映し出される体操を見ながら20分コースと40分コースを行った。

間に休憩をはさみ、午前中に2回、午後に2回の合計4回実施。参加者は予め回覧を見て参加された方と展示回覧に来られて呼びかけに応じられた方々。

体操に参加された方にはペットボトルのお茶とキャンディを渡し、帰りには凶解入りの「絵解き百歳体操」を渡して、家でも続けてもらうように声かけをした。

## スケジュール

順序	時期	内容	詳細
1	8月	定例学習会	活動内容を協議
2	9月	打ち合わせ	コロナ禍で会合は開けず、電話とメールで活動内容の協議と決定 講師の選定
3	10月	全体研修会(友の会との合同研修会)	活動内容、決定事項の確認、役割分担の決定 町保健センターにビデオとおもり借用願の提出、講師依頼案内チラシの全戸回覧、区長会に協力依頼
4	11月	打ち合わせ	公民館館長、講師との事前打ち合わせ 当日の役割分担の再確認



### ポイント（工夫した点）

- ・受付での体温チェックと問診票の記入、マスク着用をお願い
- ・周りの人と間隔をあけて体操ができるよう椅子を配置し、使用後は消毒を行った
- ・運動着でなく普段着のままで行えることをアピールし、来場者に参加を呼びかけた
- ・おもりの着脱など慣れていない方には、推進員と友の会スタッフがサポートした

### やってよかったこと

- ・無理のない、ゆったりとした動きで覚えやすく参加者に喜んでもらえた
- ・若い人の参加もあった
- ・コロナ禍で行事の中止が多いなかの開催だったが、推進員とその協力団体の「友の会」との関係が良好だったことと多くの地区住民に関心を持ってもらったことがやってよかったと思えるし、次回に繋がると確信した

### 課題・改善点

- ・コロナ禍でたくさんの人の呼び込みができなかったこと
- ・展示会との共催で会場を大きく取れなかったため、1回の人数に制限があったこと
- ・健康を維持するための企画で、本来は1回限りの活動で終わらせるのではなく、定期的を実施すべきだと思ったが、コロナ禍では制約があり難しいとも実感した



# HOW TO ⑮ 朝日町連絡会 『老若男女共同参画で地域の防災力を高めよう！(勉強会)』

## 概要

1. 開催日時：令和2年10月16日（金）
2. 会 場：朝日町役場 2階代3会議室
3. 参加者数：16名
4. 講 師：NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち 理事長 大坪久美子 氏
5. 参加費用：無料

### Q1 開催の経緯(なぜ実施しようと思ったか等)、テーマ選定のポイントを教えてください。

近年地震や洪水等の自然災害を受難する確度が高くなり、災害が発生した時に設営される避難所での問題点等が報道される事も多くなって来ております。今後我々が生活する地域においてもいつこの様な場面に遭遇するかわからない状況です。

そこで、そんな場面に遭遇した際に男女共同参画の視点でどんな行動が必要なのかを、有識者を招いて講義を行ってもらい、有事の時は得た知識にて少しでも老若男女ともに過ごし易い環境づくりに貢献できればと、連絡会内で勉強会を開催することとしました。

### Q2 当日の内容はどのようなものですか。

講師からご提示のありましたテキストbookから協議するテーマを決め、推進員内でグループ討議し、今後どの様な行動や施策が必要なのかを課題抽出し、検討結果を発表し講師からのコメントを受けながら、参加推進員で共有することで知識向上を行いました。

## スケジュール

順序	時期	内 容	詳 細
1	8月	男女共同参画推進員 朝日町連絡会 8月定例会	勉強会の実施内容について協議
2	9月	男女共同参画推進員 朝日町連絡会 9月定例会	日時・場所・講師決定
3	10月初旬		講師に依頼
4	10月中旬		講師とメールで講演内容について確認 必要物の準備

### ポイント（工夫した点）

- ・コロナ下の環境でもあり講義を2回に分けて実施し、短時間で実りのある講義となるよう配慮した。
- ・講師よりご提示いただいたテキストbookを購入し、今後推進員になられた方々にbookを継承する事で、今期だけの活動で終わらさないようにした。
- ・今回の講義で学んだ成果物として簡易的資料にまとめ、全町民に配布する広報誌の紙面記事として、啓蒙を推進することとした。

### やってよかったこと

- ・推進員皆の防災意識及び避難時における留意点の意識向上がはかれたこと。
- ・避難所開設時における性別や年齢差、及び人格差を保護できる運営方法を考えることができたこと。
- ・グループワークをすることで、推進員同士の親交をはかることができたこと。

### 課題・改善点

- ・コロナ下という制限がある中での活動であったが、あと数回グループワークを実施し、推進員の知識やリーダーシップ意識向上をはかり、推進員が他の会合（町内会等）に参加し、今回学んだことをリーダーとして垂範できるように、実践の場を持つ場面を計画すればよかった。



# 令和3年度 連絡会による活動実績一覧（抜粋）

～講演会等の講師選定、寸劇等のシナリオの貸し借り、活動へのヒント等にご活用ください～

## ○講演会等実績一覧

分類	テーマ、演題等	講師	連絡会	実施日時、会場		
男女共同参画全般	「ファミリー料理教室」	笹山 宗博 (味の笹義)	富山市	10月2日	土	朝日公民館
	「男女平等・共同参画社会ってどんな社会」	酒井 栄朗 (高岡市男女平等・共同参画課)	高岡市	7月18日	日	木津公民館
	「男女共同参画に関する講演会」	小川 万里絵 (日本銀行富山事務所・所長)	滑川市	2月13日	日	滑川西地区コミュニティホール
	女と男のパートナー会議・砺波市男女共同参画推進のつどい「イクボスを実現する職員がいきいきと活躍し成長する職場～多様化する職場の人材を活かすマネジメントとは？」	安藤 哲也氏 (NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事)	砺波ブロック	12月5日	日	庄川生涯学習センター
	DV防止研修会「身近にあるDV・虐待・ハラスメントに気づこう」	小林 涼子氏 (NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト理事)	南砺市	9月16日	木	地域包括ケアセンター多目的研修室
	働き方改革推進セミナー 基調講演「明日からできる！新しい働き方のヒント～職場が変われば、男性も女性も活躍できる！～」 市内業者によるパネルディスカッション「男性も女性も働きやすく、働きがいのある職場とは？～南砺市の現状と事例共有～」	講師：浜田 敬子氏 (ジャーナリスト) パネリスト：川合 洋平氏 (日の出屋製菓産業㈱ 代表取締役専務) パネリスト：岡部 竜一氏 (㈱岡部 代表取締役社長) ファシリテーター： 小安 美和氏 (株式会社 Will Lab 代表取締役)	南砺市	12月20日	月	いのくち椿館多目的室
	がんばれ、宮川っ子 ～自分らしさを大切に～	男女共同参画上市連絡会 宮川地区推進員	上市町	7月19日	月	宮川小学校各教室
女性の活躍推進	女と男のパートナー会議 「女性にやさしいまちづくり～真のSDGsの実現を目指して～」	マリ・クリスティーヌ (異文化コミュニケーター)	高岡市	11月6日	土	高岡市ふれあい福祉センター
	地域防災における女性の活躍に関する講座	NPO法人Nプロジェクト ひと・みち・まち	高岡市	2月27日	日	西条公民館
介護	「介護現場におけるコロナ感染症の取り組みについて2」	表 富美枝 (社会福祉法人清栄会 特別養護老人ホーム清栄園・施設長) 中田 満 (同・総務課長) 砂田 大輔 (同・生活相談員)	小矢部市	10月13日	水	小矢部市民交流プラザ
男性啓発	「エコライフ☆押しかけ講座 食品ロス をなくして賢く楽しくエコライフ」	北山 佐代子 (エコライフを楽しむ市民の会高岡)	高岡市	2月6日	日	伏木コミュニティセンター
その他	「SDGsを実践しよう」	高岡市出前講座	高岡市	2月5日	土	中田コミュニティセンター

## ○寸劇等上演実績一覧

分類	演目等	連絡会	実施日時、会場		
朗読劇	「私が輝く夢のお仕事！ともに支える男女共同参画推進員」	氷見市	10月22日	金	いきいき元気館
寸劇	「笑顔満開！田中家の人々」	小矢部市	7月31日等		津沢コミュニティプラザ



○地域会議・学習会等実績一覧

分類	内 容 (講師)		連絡会	実施日時、会場		
地域会議	高齢者など地域で困っている方々に寄り添うために何が出来るか討論した	各地区のリーダーが主導し40名参加	入 善 町	12月10日	金	上原産業展示会館
学 習 会	サンフォルテカレッジ講師派遣型研修会 ◇テーマ「災害・防災について男女共同参画の視点から考える」	牧野 圭子課長 藤井 香奈子係長 (公財) 富山県女性財団	魚 津 市	10月21日	木	魚津市役所
	終活セミナー	川口 宗治 (ライブリッジ 代表) 氏	黒 部 市	11月20日	土	K-HALL
	結婚支援セミナー	なんと未来支援センター 常本 裕斗 氏	黒 部 市	11月20日	土	K-HALL
	上市町・立山町合同研修会	サンフォルテ出前講座 (DV)	上 市 町・ 立 山 町	11月20日	土	上市町働く婦人の家
	老若男女共同参画で地域の防災力UP ～朝日町で広げよう～	大坪 久美子 (NPO法人Nプロジェクトひと・ みち・まち 理事長)	朝 日 町	6月25日	金	朝日町役場
研 修 会	「家庭における家事・育児シェアについて」	富山県知事政策局少子化対策・働き方改革推進課 課長補佐 小林 充恵	射 水 市	5月11日	火	射水市役所
	音楽療法とわきあいあい体操(音楽療法体験と男女共同参画啓発品の配布)	久次 弘泰 (音楽療法士)	上 市 町	11月9日	火	山加積公民館
その他	男女共同参画週刊啓発		立 山 町	6/23～ 6/29		役場、元気交流ステーションみらいび

○その他活動実績一覧

活動内容 (講師)	連絡会	実施日時、会場		
男女共同参画広報誌「明日を拓く」の発行	魚 津 市	3月31日 発行		
オレ流家事育児フォトコンテスト	魚 津 市	8月20日～27日		アップルヒル
黒部市独身男女出会いサポート事業 (クリスマス婚パinくるべ)	黒 部 市	12月11日	土	K-HALL
DV防止街頭啓発活動 (チラシ及び不織布マスクの配布)	砺 波 市	11月14日	日	市内3店舗(イオンモールとなみ、MEGANドン・キホーテUNY 砺波店、アルビス砺波店)
男女共同参画の推進PR	舟 橋 村	11月3日	祝・水	舟橋会館
啓発チラシの街頭配布・同封	南 砺 市	12月27日 1月9日 3月8日	月 日 火	市内
「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせたDV防止パネル展示	上 市 町	11月27日・28日	土・日	相ノ木会館
オープン参加で百歳体操の実施	入 善 町	11月14日	日	櫛山公民館